



お知らせ

!!ふるさと!!を唄に織り込んで

「山古志音頭」発表会から

広報十一号で紹介しましたが、「山古志音頭」の完成を祝って、その発表会が去る十一月二十九日山古志中学校体育館に於いて盛大に行なわれました。

発表会には、村民 関係者、来賓、同校の生徒など二百余人が出席、村長の喜びのことがあり、作詞の加藤次馬先生、作曲の浅井政尾先生、この音頭のために振り付けくださった花柳昌吾先生に村から感謝状が贈られました。



なつかしい山古志の思い出話や作詞、作曲についての裏話などの披露があり、続いて先ごろ完成したレコードを試聴。

この音頭は、山古志全

種々原診療所に
電話新設
番号(種々原局)三三番
赤ちゃんの
下痢について

赤ちゃんの便は硬さ、回数に個人差があって、どの程度を正常・異常と判断するかは困難ですが、ふだんより便がゆるく回数が多い場合を下痢と考えてよいでしょう。

赤ちゃんが下痢になったとき、注意しなくてはいけないのは、きげんと食欲がおかされているかどうかです。

きげんよく食べたり飲んだりしている場合は、たとえ何回下痢があっても心配はありません。(まれに特殊な病気がありますが)ので長引くときは医師にみてもらって下さい。(食事は今迄通りでかまいませんが、新しいものや脂肪、糖分をひかえ水分を十分に与えます。

食欲がおち、不きげんで吐いたり、熱を伴ったりする場合は必ず医師にみてもらわねばなりません。食欲がでてくるまで食事(ミルク・牛乳も)を与えず湯ざまし番茶・好みによってはおすめたハチミツや果汁などを、少量ずつ何度にもわけて飲ませてみますが、くわしくは医師の指示に従って下さい。

なお、母親がなま水を飲んで

……旅館の宿泊税が減税になりました……

10月1日から旅館に宿泊したときの基礎控除額が1泊について1,500円(改正前1,000円)に引き上げられました。県税の料理飲食等消費税の課税区分はつぎのとおりです。税率はすべて10%ですが下記のように免税点制度があります。

- ① 料理店、小料理店、バー、キャバレー 免税点なし
 - ② 旅館、ホテル
 - 宿 泊 1泊2,400円まで免税
 - 宿泊者の追加飲食等 1回1,200円まで免税
 - 日帰りの休憩飲食
 - ③ 飲食店等 1回1,200円まで免税
 - ④ チケット食堂 1品の料金が600円まで免税
- お会計のときは、公給領収証を受取ってください。

昭和五十年
毎日奨学生受付中

毎日新聞社、毎日育英会では、奨学生の昭和五十年奨学生を受付しております。

この育英制度は学資・食費・住居など一切を育英会が、お世話する制度で、代りに新聞業務の一部である、朝、夕刊の配達をしていただくことが条件であり卒業後に学資などの返済を必要としないことが特徴です。

〒一六〇 東京都新宿区
西大久保四の一七〇
毎日新聞社早稲田別館内
毎日育英会事務局



主な記事

- 年頭にあって
- 十二月定例議会から
- 飲酒運転追放一〇〇日運動実施中
- 年末・年始防犯活動強化
- 冬の交通事故防止
- 消防出ぞめ式
- 国民年金改正
- 農業センサスに協力を

1975 1/1 第79号

発行 新潟県古志郡 山古志村役場
電話 竹沢局 17 23 78
印刷 大川印刷株式会社

広報 やまこし



ことしも明るい豊かな村づくりにご協力ください

村の人口 -12月1日現在-

世帯数	988	(男 2,083人)
人口	4,167人	(女 2,084人)
出生	5人	死亡 6人
	(男2・女3)	(男2・女4)
11月中の住民移動	転入 5人	転出27人
	(男4・女1)	(男14・女13)

年頭にあたって

山古志村長 佐藤 久



新年おめでとうございます。皆さんは夫々希望を抱いて新しい年を迎えられたことでしょうか。今年こそはと家族会議を開かれて計画をおたて中と思います。昨年は五米を越した大雪で雪消えが五月中頃になったため、錦鯉の大量斃死、稲作の不作、鯉のため約三千万円の天災融資を受けて急場に備えたが産卵ふ化のおくれを加えると数倍に上る損害と考えられ、その他道路農地の被害はかつてない多くの個所に生じ、その上一昨年秋の石油ショックから来る世界的不況の波で企業の不況と倒産が続き失業者が出初め、村内に進出予定の企業も不調となり従業員全員解雇

の悲運を見、更に又錦鯉の売行きは凡そ昨年の倍からと称され、肉牛の如きは一頭当十から二十万円の赤字となり、全県飲酒運防止百日運動に当っては重点村に指定され、村初て以来の凶年となりました。政界ではアメリカの大統領ニクソンさんの失脚は各国への影響が大きいと言いつつ日本へも影響が大きいと言いつつ日本特には裏日本の救世主と希えをこめて出で頂いた田中角栄総理大臣が経済の不況、物価高のあり、自由民主党の内部問題から遂に志半にして退かれたことは我新潟県のため否裏日本、国土の早期開発のため残念であり一大損失であります。しかし他面から見ると村内の各種事業は凡そ順調に進み、大災害もなく幸でありました。

特に県道長岡小出線が栃木県の日光迄の間を結ぶ長岡日光線の名称で国道三五二号線として昇格しました。長岡の土合を起点として種芋原広神小出湯之谷を通り福島県を経て栃木日光に至るものがあります。国道が本村を通ることには今回が最初で幸先の良いことと信じます。

さて皆さん今年一九七五年について静かに考えると今年からいよいよ心の紐をしめねばならぬ時が来たと思えます。計画した方針に沿って部分的に手直すべきところはよく検討して直し、確実な方法を打出して行く考えであります。国政は簡単に安定しそうになく、経済も急速に回復するとは考えられません。失業者が多くて困っている米国の経済が世界の経済を左右すると言われ、労働者側に重点を置いたイタリヤの経済は倒れる寸前と伝えられます。石油と食糧が原子力同様に戦略に使われ始め物質は世界に余って売込みの競争中、日本は昔から資源を国外から求めて加工して輸出して米国で各国にいらまされて現況であり、石油は九〇%余、食糧は家畜飼料を含めると六〇%他の原材料殆んど輸入に頼る仕末、その上世界中の好況の波に乗って経済も極度に膨張し生活程度も昭和元祿と言われる位上昇しその生活を維持するめには働らかねばならないが暫らくその場が狭くなりそう、国は食糧の国内自給を計画し、国土の総合開発、均衡のとれた国民の生活

除夜の鐘が鳴りだせば、もう新年です。一九七五年の幕あけを知らせる百八つの鐘の音に、煩悩解脱、罪業消滅の祈りをこめて、いつの間にか鳴りおわりました。一夜明ければきのうは去年(ことごと)であり、きのうは今年(ことごと)です。たちまちのうちに、年去り、年来たる、時の経つのはつきりと感じます。ことわざに「一年の計は元旦にあり」とありました。一日は国民の祝日のトップで、制定の由来は「国民自身が新しい希望と決意をもって新しい年の初めを祝う日」とあります。お説教じみですが、新年は、人心を一心する契機となつてこそ意義があるわけですから、ただお正月を祝うというだけでなく、将来を考え新しい年の生活計画をたてて、希望の出発点としたいものです。



正月の話題

十二月定例村議会から

農業共済条例の制定

給与条例の改正

一般会計補正予算は七千九十万追加

十二月定例議会は、十二月十一日に招集され、二十一日までの会期で開かれました。村政に対する一般質問や請願などが行われたのち、農業共済条例など十八件の条例・規約案や前年度の決算及び本年度の補正予算など三十三件に及ぶ議案を審議して二十日に閉会しました。

条例関係

○災害用慰金の支給及び災害援護資金の貸付に関する条例
暴風雨・豪雪・地震等の自然災



害によって災害救助法の適用を受けた場合、死亡者については一人当り五十万円の弔慰金を支給するとともに被害を受けた世帯の立て直しに役立てるために、援護資金を最高五十万円(利子・据置期間無利子その後年三%)までを貸付けるよう定めたものです。

○山古志村農業共済条例
村の農業共済組合は、運営上の理由により、かねてから協議をすすめてまいりましたが昭和五十年四月一日をめどに、その業務を役場内において処理するために必要な事項を定めたものです。

なお、これに係る職員定数
条例・特別会計設置条例の改正や農業共済掛金等の督促手数料徴収条例も定められました。

○特別職の職員給与と条例及び教育委員会教育長給与と条例の改正
村の特別職報酬審議会(会長坂牧春吉)はこの給与について諮問を受け、十月十六日から審議を重ね諸物価の上昇、職務の重要性、他町村との比較等広範囲を考慮した結果、別表のとおり答申されました。これに基づいて報酬や給料を改正することになり八月一日か

職務の別	報酬又は給料	改正前
議長	75,000	49,000
副議長	59,000	43,000
委員	56,000	41,000
常任委員	53,000	39,000
村助	265,000	193,000
収入役	213,000	165,000
教育長	208,000	161,000
収入育	172,500	130,000

○一般職の職員給与と条例の改正
ことしの人事院勧告に基づいて改正される国家公務員の給与に準じて改正し、平均二九・五七%引き上げて支給することになりました。これによって高校卒の初任給は五万七千六百円となります。

このほか、扶養手当・通勤手当についても国や県に準じて引き上げられました。

人事関係



長島さん

十月三十一日で任期が満了された教育委員に長島源佐さんを選任することについて全員一致で同意しました。

長島さんの職業は農業で、現在虫亀部落の会計を担当しております。年令は五十二才。

決算の認定

昭和四十八年度の一般会計及び特別会計の歳入歳出決算は監査委員の意見を付して提出され、審議のうえそれぞれ認定されました。

その結果は表のとおり、実質収支額は基金繰入金を除いて本年度の予算に繰入れ運用されています。

決算の内容は、総括して前年より約一四・四%の伸びを示し、人

(単位千円)

区分	一般会計	特別会計			
		国民健康保険	竹沢診療所	虫亀診療所	種芋原診療所
歳入総額	508,241	70,557	12,934	4,092	4,836
歳出総額	470,925	64,872	11,588	3,938	4,485
歳入歳出差引額	37,316	5,685	1,346	154	351
翌年度へ繰越すべき財源	10,512	0	0	0	0
実質収支額	26,804	5,685	1,346	154	351
基金繰入額	0	1,200	1,340	150	350

○過疎地域振興計画について
昭和四十五年山古志村は、過疎地域に指定され、ことしまでの五ヶ年を前期として統合中学校の建設をはじめ、道路の整備、保育所建設等の事業を促進して過疎化対策をすすめてまいりましたが、昭和五十年から五ヶ年を後期とする振興計画を策定するについて審議されて議決したものです。

この計画は、おこなわれている交通通信体系の整備を重点として、教育文化施設の整備、生活環境等

件費は全体の二六・四%、建設的事業は三四・五%となります。

この概要は、次の広報紙でお知らせする予定です。

激動の七〇年代といわれたのもつい先ごろです。ことしこそあらゆる意味で重要な年になりそうです。私たちがとりまく社会情勢はつきりと見つめて、しっかりと心構えをきめなければなりません。

除夜の鐘が鳴りだせば、もう新年です。一九七五年の幕あけを知らせる百八つの鐘の音に、煩悩解脱、罪業消滅の祈りをこめて、いつの間にか鳴りおわりました。一夜明ければきのうは去年(ことごと)であり、きのうは今年(ことごと)です。たちまちのうちに、年去り、年来たる、時の経つのはつきりと感じます。ことわざに「一年の計は元旦にあり」とありました。一日は国民の祝日のトップで、制定の由来は「国民自身が新しい希望と決意をもって新しい年の初めを祝う日」とあります。お説教じみですが、新年は、人心を一心する契機となつてこそ意義があるわけですから、ただお正月を祝うというだけでなく、将来を考え新しい年の生活計画をたてて、希望の出発点としたいものです。

の施設整備、産業の振興を柱として、健康で明るく住みよい環境づくりを目ざして自然と特産を生かした地域づくりのための各種事業を見込んでいます。

補正予算

○一般会計予算
ことし三回目の補正で、歳入、歳出ともに七千九百九十二千円を追加して予算総額は六億二千四十一万四千円となりました。

○歳入の主なものは次のとおりです。
○歳出の主なものは次のとおりです。
○歳入費……給与改訂による報酬手当等で三百八十一万円の追加
○特別会計
国民健康保険は二百六十九万円の追加、竹沢診療所百八十一万円、虫亀診療所五十三万円、種芋原診療所二百四十四万円をそれぞれ追加補正を行ない、特別会計予算の総額は一億二千八百三十七万円となりました。

飲酒運転追放

一〇〇日運動実施中

五十一年二月十八日まで

飲酒運転は、いわゆる交通三悪のうちでも最も悪質な行為といわれており、この追放に努力されていますが依然としてあとをたない実情にあります。特に、例年年末・年始にかけては、飲酒する機会が多くなることから、飲酒運転による重大交通事故が多発する傾向にあります。

犯罪なくして明るいお正月を

十二月～一月

「犯罪や事故のない明るく平穏な年末・年始」を目標にして、防犯活動を強力に推進することになりました。

年末・年始防犯活動の強化
遊技道具のほしさからの万引き、また、遊びのためには手段を選ばないといった、遊びにむずびついた非行、人がやるから僕も、わたしもといった模倣性非行が、高校

スリップに注意

冬の交通事故防止運動

冬期における積雪、凍結による道路条件の変化及び年末・年始において飲酒の機会が多いことなどから「飲酒運転追放一〇〇日運動」に加え、次のことを重点に実施されます。

- 一、歩行者事故の防止
- 二、スリップ事故の防止
- 三、踏切事故の防止

一月六日は消防出ぞめ式

一月六日は、全国的に消防出ぞめ式が行なわれます。村の消防団も恒例により、午前九時からサイレン（半鐘）を合図に各分団毎に機械器具の点検や放水訓練を実施します。

生命が失なわれており、また、損害も大きな額にのぼっています。生活水準の向上とともに様式も変わり、従ってガス、電気器具など火気の使用箇所も多くなっているため、火災発生の危険率もそれだけ高くなるわけです。特に冬期の火災は、避難するにも、消火

今日の納税
県村民税 4期
国民年金 4期

納期限までにお忘れなく

雪による事故に注意

降雪によりなだれが発生しやすい!!
村では除雪・圧雪により交通確保に努力していますが、事故を未然に防止するためには、協力して1人歩きや夜間の通行は出来るだけ避け、常に安全をたしかめて事故のないように充分注意して下さい。



家庭、職場、地域ぐるみで「三不運動」を実行し、飲酒運転を追放しましょう。

保険料が一、一〇〇円に

年金を支給するための財源は、加入者の保険料や国庫負担と、これを積立てて生じる利子などまかなわれています。

したがって、年金額の引上げが行なわれれば費用の負担もそれに応じて増額されることとなります。

昨年一月に各年金ともおよそ二・五倍から三・二倍引上げられ、九月には物価上昇にともなう年金のめり分十六・一パーセントの上積みが行なわれ、あわせて二・九倍から三・七倍もの大幅

保険料免除の制度

国民年金には、生活が苦しいとか、失業や災害などにより保険料を納めたくとも納められないような場合、その人の保険料を納めることを免除する制度があります。

この免除には、法律で定められている条件にあてはまれば届出をするだけで免除(法定免除)が行われる場合と、納められない事情を書いた申請書を出して県知事の承認によって免除(申請免除)を受ける場合の二通りがあります。

保険料を納められないからといって、そのままにしておく、その分の年金がうけられないばかりか、ときには、老齢年金をうけるために必要な・受給資格期間(保険料を納めたり、免除をうけた期間が含まれる)に及ばず、年湮年金(年金)がうけられない……ということにもなります。

なお、保険料の免除をうけた場合は、国保負担金として、保険料を納めた場合の半分の年金額が支給されますので、納められない事情のある人にとっては、たいへん有利な制度といえます。

また、保険料の免除をうけた場



合でも、その後納められるようになったときにその当時の保険料額で、あとから納めることができる保険料追納の制度があります。

これまでに免除をうけている人も余裕があれば、いまのうちに追納しておく、将来は、それだけ有利な年金がうけられることになります。

くわしいことは役場年金係にご相談ください。

受ける日の 笑顔で掛けよう 国民年金

とらえられることになり、この調査の結果は、村づくりの基礎となることはもちろん、県なり国なりでいろいろの施策、特に、農業を進展させるための施策を進める上で、最も基礎的な資料となるものです。

調査員の方が皆様のお宅をお訪ねし、調査票に基づいていろいろお聞きいたしますが、この調査の趣旨を御理解の上、御協力くださるようお願いいたします。

なお、調査票に書かれたことは、統計をつくるためのもので、税金の資料に利用したり、他に秘密をもらしたりすることは法律で固く禁じられておりますので安心してご協力ください。

実施は二月一日現在

農業センサスに協力を!!

一九七五年農業センサスが、二月一日を期して全国いっせいに行われます。

この調査は、「農業に関する国勢調査」ともいべき我が国農業の最も基本的な統計調査として、昭和二十五年以来五年ごとを実施され、戦後における農業発展の歴史とともに歩んできた大切な調査です。

主な調査事項

- ◇世帯員の就業状況
- ◇土地及び土地利用(経営耕地、山林、その他の土地)
- ◇収穫面積、家畜、養蚕
- ◇農業雇用労働、請負作業、農用機械
- ◇農産物の販売
- ◇林業労働

この外に、今回のセンサスで新たに原野、耕作放棄地、宅地、その他の土地の保有状況、農作業の受託の状況なども調査されます。

みなさんも御承知のように、農業をとりまく諸条件ははげしく変化しております。そうしたなかでこの調査は、我が国の現在の農業・農村の姿がはっきりと統計として

貯金通帳の盗難に御用心

盗まれたらすぐ郵便局へ

郵便貯金通帳が盗まれて、お客さまの知らない間に払いもどされる事件は、今年の四月から九月までの半年間に全国で一、一三四件もあり、その金額は、一億二、三〇〇万円余りにのぼっています。

長野県内では、松本市、上田市などで、七件、金額二九万円、また、新潟県内では、新潟市、上越市などで七件金額五七万円の被害が発生しています。

郵政省では、お客さまからお預りしている大切な郵便貯金をまもるため、盗難の届があると郵便局で払渡の警戒をしたり、郵政監察官が犯人を捜査したりしています。

信越郵政監察局では、お客さまに対し、貯金通帳などの盗難防止と、盗難にあった場合の早期届出について、次のようよびかけています。

「印章と通帳は別々に」

貯金を払いもどす際には、通帳に押してあるものと同じ印章であるかどうか、正当本人であることとを証明する最大の証拠となります。

こんな大切な印章を通帳と一緒に盗まれたものが、八〇%にもなっています。通帳と印章は別々に保管しておくのが安全です。

「盗まれたらすぐ郵便局へ」

郵便局では、お客さまから「通帳が盗まれた」「通帳を落した」などの届があると、すぐ、他の郵便局と相互に連絡しあい、被害が出ないように警戒します。

通帳と印章を盗んだ犯人は、すぐその足で郵便局に行き貯金を払いもどすが五〇%、その翌日の払いもどしが一四%もあります。

大切な通帳を盗まれながら、一カ月もたつてから気付いて届け出たものが九%もあり、また、犯人が逮捕されるまで気付かずにいる人も相当います。

盗難届は、どこの郵便局でも受け付けます。盗難にあつたらすぐお近くの郵便局へお届けください。

「通帳の記号番号は 別にひかえて」

通帳の記号番号がわかっていると、郵便局では、早く警戒ができ効果的です。

通帳の記号番号などを家計簿等に別にひかえておくことをお忘れなく。

村の鎮守様

佐々木 隆

戦前は、晦日(まぼ)が近づくころともなれば、商人などが掛とり(かかけ)にやってくる。その掛とりの顔が鬼の顔に見える、よくいわれた。今は掛とりどころか、掛とりとは何のことだか知らない人が多くなった。人も時代も全く変わったことを示しているが、変らないものは地球の自転である。四十億近い人間の住む地球が今年もまた太陽を一周して、出発した時点で帰って来た。曆の上で人はその日を元旦と呼んでいる。

一陽来復、昭和五十年の新春を心から祝福し、更に山古志村の住民の皆さんが、猛牛の如くその健康の頑健さを咆哮し、錦鯉のごとく躍動飛躍して、山古志の存在を誇示されるよう祈ってやまない。

元旦に、鎮守の神への初詣は積雪の多い雪国の人達には困難な場合が多いが、私はかつて、信州諏訪に住み、北海道の室蘭にも居住し、その間東北地方特に岩手、秋田、山形、福島などを旅したことがある。一部の地方に過ぎないが、豪雪地帯を除いては元日の暗いうちから、初詣と称して神社に参拝していた。二年参りという風習もあつた。除夜の鐘を神社の境内で聞きながら一度参拝し、除夜の鐘がつき終ればすなわち元日である。そこでいま一度参拝するのが二年参りだ。除夜の鐘、それは仏教の儀式から生れたもの、人の世の諸行無常もろもろの煩悩への反省をこめて百七つ、最後の鐘は来る年の無明から有明への折りをこめてつかれる鐘だといふ。高低の山々につつまれ、しかも寺院のすくない山古志の村々、二年参りがしたくとも、鎮守の森に除夜の鐘がおくられて来ないかも知れない。

増益年中行事によれば、当月を睦月(むつぎ)というは、貴賤ともに往返して新年を賀し睦あう故に睦月(むつびづき)というを略してむつきというなりとありまた、諸人卯の時に起て身を浄め天地神明を拝し、君を賀し先祖の靈位を拝し、無事新年を迎えることを喜ぶべしとある。

天地神明を、鎮守の森で拝し家内安全を祈る昭和五十年の新春、山古志よもやまは久保部落の鎮守様に筆を移したい。